

自立活動だより

紀北支援学校自立活動部

令和3年度11月発行

今月の自立活動だよりはセクション3からお届けします。

セクション3では自立活動の区分（自立だより5月号参照）の『人間関係の形成』と『コミュニケーション』を中心に学習を進めています。

『人間関係の形成』と『コミュニケーション』はどう違うの？という質問を受けることがあります。

『人間関係の形成』では、例えば人への関心や感情の理解、自己理解や行動の調整（状況に応じた行動など）集団活動への参加やそのためのルールや理解などへのアプローチをしています。

『コミュニケーション』は要求したいことを伝える手段（身振り・手振り・指さし・サイン・手話・点字・絵カードの使用・機器を使用など）に必要な基礎的能力を身につけることや、言葉の表出のための発音や構音指導、人と話すときの話し方、文につながっていくように物の名前や動作を表す言葉、大きさや色・形など表現できるようなアプローチ等をしています。

セクション3の授業の中心はこの内容になりますが、他の区分とも関連づけながらいろいろなアプローチができるようにしています。今回は授業で行っている取組の中から3つの言葉遊びを紹介します。

階段あそび

階段や道でじゃんけんをして『グリコ』『チョコレート』『パイナップル』と競争をする遊びのカード版です。いろんな単語のカードをひいて階段を上がったり下りたりします。授業では1拍がわかりやすいように階段を使っています。1文字～5文字くらいのカードを使っていきます。単語の数が多いと1段多く上がりすぎたり下りすぎたりすることがあります。そのため、上り下りする前に手を叩いて拍を確認してから行います。



「き」



「くま」



「ばなな」

※授業で行う階段遊びでは、小さな「や」「ゆ」「よ」（拗音（ようおん））や、小さい「っ」（撥音（はつおん））、伸ばす音「ー」（長音（ちょうおん））が入らない単語を使っています。

あいうえお作文

自分の名前やお題の言葉から文を作ってもらいます。

- ① き・・・きらきらひかる
- ② ほ・・・ほしをみつけたよ
- ③ く・・・くもでかくれないでね



最初は2、3文字の好きな単語のお題から始めます。楽しみながら進めていけるように、イメージしながら一緒に絵を描くと伝わりやすくなりますね。

3（スリー）ヒントクイズ

3つのヒントを出して、答えを導き出してもらいます。

最初は担当者が3つのヒントを使って問題を出しますが、その次の段階でお題から3つのヒントを考えてもらいます。最終的には自分でお題を考え3つのヒントも自分で考えて問題を作ってもらいます。

3つのヒントです。

- ① がっこうやこうえんにあります。
- ② あそぶものです。
- ③ すべります。

こたえは すべりだい

ぎゅうにゅうから 3つのヒントをか かんがえてね。

3つのヒントをかながえてね。

- ① （のみものです。）
- ② （しろいです。）
- ③ （きゅうしょくにあります。）など

?

- ①
- ②
- ③

じぶんでもんだいをつくってみよう！
できたら、おうちのひとやともだち、せんせいにこたえてもらおう！

※授業では問題を作ると共に問題を出すときの声の大きさやスピードなど、はっきりと相手に伝わるようにすることをねらいにしています。

授業で言葉遊びをする時には、やりとりを楽しみながらすることを優先しています。またリラックスして声を出やすくしたり、思ったことをスムーズに伝えられるように身体を動かしたり、楽な姿勢になりながら行っています。寝転んでお話しすることもありますよ^^。自分の伝えたいことが「伝わった！嬉しい！」という経験をたくさん積み上げて、言葉をひろげていってほしいな・・・と思いながら、一緒に楽しんで授業を進めています。ご質問などがあれば、担任の先生を通してお知らせくださいね。